

Dコース(白土～村松海岸)

(全5.4km)

【コースの特徴】

- ・白土海岸シャワー室前①を出発点とするコースで、おすすめ4コースの中でもっとも長いコースです。
- ・スタート後少し西に寄り和智元郷の墓②へ、浜田川河畔を北に進み、西岐波交番を東へ、しばらくは国道沿いに歩きます。
- ・中央病院の手前を南に折れ、道なりに直進、権現様③に寄り道して村松海岸へ、これよりは海岸沿いです。
- ・煉瓦工場跡④、獄ヶ鼻⑤、沖ノ須賀古墳⑥などを垣間見ながら、瀬戸内海の景色とさわやかな潮風を楽しむことができます。

【凡例】

- ① Bコース出発点・終点
- ②～⑥ コース内の名所・史跡・遺跡
- コース内の通過ポイント



	ポイント間	累積距離
① 白土海岸 (シャワー室)		
↓	200m	200m
② 和智元郷の墓		
↓ 「浜田川」	600m	800m
↓ 「西岐波交番」		
③ 権現様	1,500m	2,300m
↓		
④ 煉瓦工場跡	1,300m	3,600m
↓		
⑤ 獄ヶ鼻(村松海岸)	200m	3,800m
↓		
⑥ 沖ノ須賀古墳	1,600m	5,400m
↓		
① 白土海岸 (シャワー室)		



① 【白土海岸(しらつちかいがん)】

- ・ひと昔前の夏は海水浴客で賑っていました。
- ・現在は潮干狩りや海岸の景色を楽しむスポットとして、多くの行楽客が訪れます。



② 【和智元郷の墓(わちもとさとのほか)】

- ・約250年前、毛利家に従い山村領主となり浜田川の水源、真河内(さなごうち)溜池を大改修し、地域の発展に功績を残しました。
- ・溜池は50町歩の水田をうるおす農業灌漑用水池で、農民の協力を得て完成したと言われています。



③ 【権現様(ごんげんさま)】

- ・灯籠に文化7年(1804)と刻んであります。昔、ある一族が御前様を家の守り神として奥州路からこの地に住みつき、大繁昌したと言われます。
- ・昔から宿場の中継地で、大正13年頃までは駅馬車が阿知須まで一日2往復していました。